

# 緑のセンターだより

NO. 171 平成 25 年 6 月 1 日発行

発行元：（公財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## クリンソウ

サクラソウ科プリムラ属  
*Primula japonica* A. Gray

クリンソウはプリムラ属の仲間で、プランターなどでよく見られるプリムラ類（園芸品種）のような派手さはありませんが、早春、小川のせせらぎの縁に小さな群れを見出すと何かホッとします。最近では随分数が減って、絶滅を危惧されているとする資料もあるなかで、見掛けることができたときは、出来るだけ大切に残したいと願うばかりです。

以前このセンターだより No. 35 で、西欧由来の種類のプリムラを紹介しましたが、クリンソウは同じプリムラ属の中でもプロリフェラエ節に分類される日本産のサクラソウの一種で、本種を含め、サクラソウ (*P. sieboldii* センターだより No. 158) やカッコソウ (*P. Kisoana*) など 14 種、及びそれらの変種など 10 数種が知られています。ジャンルとしては山草の一種とされ、プリムラ・オブコニカ (*P. obconica*) やプリムラ・ポリアンサ (*P. polyantha*) などの海外に産する種類とは分けて扱われることが多いようです。

クリンソウの和名は、花序が段状に輪生することから、寺院の塔上にある輪塔になぞらえて九輪草（塔）ともじつたのでしょう。寺院の屋根に取り付けられた輪塔にはそれぞれ、地、水、火、風、空の 5 つの意味があり、中には高さ 6m、10 段にあまる輪塔が設置された国宝クラスの寺院も存在するようです。クリンソウにも、草丈 1m 以上、花序も 10 段以上に生長する大型種があり、花径は 2~3 cm にもなります。全草無毛、花は裂片の先に切れ目を作り（和名サクラソウの由縁）、下方が筒状、花冠は質厚で、花色は紅紫色、中心濃色、桃色、白、絞りなどもあります。夏の終わりに蒴果を結び、秋に葉が枯れて株は休眠し、越冬します。北海道、本州、四国の山間地に生え、溪流沿いや湿地に群生します。涼しい環境を好み、夏冷涼な山間地などでは育てやすい性質ですが、高温と乾燥に弱く、関東以西では夏越しに難しいとされ、実生栽培で 2 年草扱いにする例があるということです。

栽培の歴史は古く、江戸中期にサクラソウ (*P. sieboldii*) と前後して導入されますが、上記の事情もあって園芸的にはあまり発展しませんでした。しかし、欧米ではいくつかの園芸品種も作られ、条件の合うところでは愛培されるようです。故郷を訪ねるとき通りかかる 275 号線の月形町に小規模な群生があります。



九輪草 四五輪草で しまひけり 一茶

<参考文献> 「園芸植物大事典」 小学館、「山野草 2525」 栃の葉書房、「日本大歳時記」 講談社

(T. K)

# 6月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。  
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日

(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)

☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜

☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜

## ◆ツツジの「もち病」・「平もち病」・「ツツジグンバイ」

ツツジの花もそろそろ咲き終わり、新芽の伸長と共に鮮やかな葉が茂ってきました。葉だけになるとあまり株自体を見なくなりがちですが、これから時期、病気や害虫による被害が出てきます。よく見て、早期発見、防除を心がけましょう。

・病気・・・昨年は、春から夏にかけてツツジ類にもち病、平もち病が多く発生し、見栄えが悪くなりました。これらの病気は日照が少なく雨が多いと発生します。

<もち病>

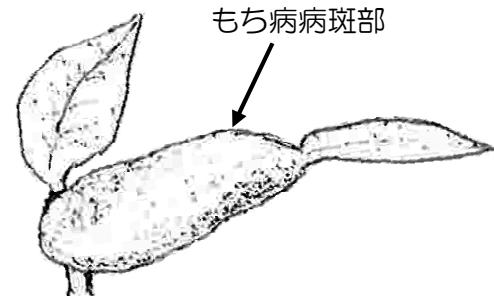
症状：新葉、新芽に5~10mmの鮮やかな淡緑色から黄色の小さなふくらみ（中は空洞）ができ、進行すると、さらにふくらみが増して焼いたもちのようになります。表面はツヤがあり、日が当たると赤みを帯び、発病した部分から菌体が現れ粉白色になり、最後は干からびてミイラ化します。多発すると株全体の生育が悪くなり、見栄えも著しく悪くなります。

伝染：胞子は秋にできた新芽に付いて冬を越し、翌春、雨が続き日照が少なく湿度が高い時や、日当たりが悪く多湿になりやすいところの株に病気を発生させます。この病気はツツジ類とツバキ類だけに発生します。

防除：発病した葉はふくらみが粉白色になる前の早期に取り、生ゴミで処分するか地中深く埋めることを徹底し、病気の葉を取り除いた後に殺菌剤（銅剤、TPN剤、ポリカーバメイト剤）で消毒します。この処置を2年程継続すると発病は減ります。

<平もち病>

症状：6月から7月にかけて葉に直径5~10mmの斑紋ができ、葉表は鮮黄色で、成熟すると淡紅色をおびた同心円状の円輪ができます。葉裏の病斑部は、当初は黄白色ないし緑白色で、秋に発病した菌体が現れて粉白色を帶びます。葉の変形やふくらみはほとんどみられませんが、葉表へ浅く湾曲します。もち病との違いは病斑のふくらみが見られないことです。



伝染と防除方法は「もち病」と同じです。

・害虫・・・ツツジの代表的な害虫を紹介します。

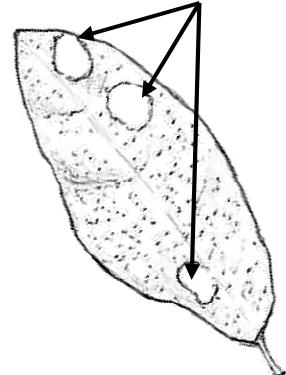
<ツツジグンバイ（グンバイムシ科）>

形態：成虫は体長3.5mm前後、背面は扁平であるが胸部は球形に隆起し、翅は透明ですが、中に褐色のX字状の斑紋があります。

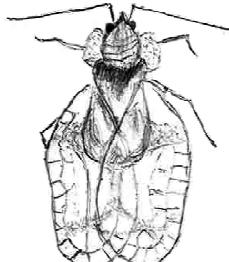
生態と被害：道内では年3~4回発生し乾燥を好み、春、気温の上昇とともに葉上に見られるようになります。幼虫は5月下旬~6月上旬から見られ葉から養分を吸収します。葉はカスリ状の症状が現れ見栄えが悪くなるとともに、光合成能力が低下して落葉が早まり、樹勢が弱くなります。

通常は「グンバイムシ」といっていますが、正式名は「ツツジグンバイ」です。

平もち病病斑部



ツツジグンバイ



## ◆秋植え球根の花後管理

秋植え球根は、球根に貯えている養分で花を咲かせますので、花が終わると球根は養分を消耗して小さくなります。翌年も花を咲かせるために、葉が緑色のうちは光合成を行わせ、球根を太らせるようにします。

まずは、雪が解け、地上に芽が出たら、1回目の肥料を与えます。次に開花盛期に追肥を行って来年のために球根を太らせましょう。肥料は速効性の化成肥料か液体肥料を与えます。また、花が散ったら花がらを子房から摘み、葉は残すようにします。

球根の掘り上げは、葉が黄色に変わり枯れたら行います。地植えの球根の掘り上げの頻度は植物により異なりますが、コンテナ植えの場合は毎年掘り上げて植え替えをします。

球根の種類	掘り上げとその後の管理
チューリップ (ユリ科)	2~3年毎に掘り上げます。葉が黄色に変わり枯れたら、茎葉や根を付けたまま掘り上げて、陰干します。乾いたら自然に茎や葉、根が球根からはずれるので、球根だけをネットなどに入れて、風通しのよい日陰で保管し、10月に入ったら植え付けます。大球は翌年開花しますが、チューリップの小球は葉を1枚だけ出して花が咲きません。花が咲くまで2~3年肥培が必要です。また、毎年掘り上げて植え付けてもかまいません。
スイセン (ヒガンバナ科)	3~4年毎に掘り上げます。掘り上げ・保管方法はチューリップに準じます。小球を取り除き、2~3年肥培します。
スノードロップ スノーフレーク (ヒガンバナ科)	植えたままでよく殖えますが、3~4年毎に掘り上げます。掘り上げ・保管方法はチューリップに準じます。
ムスカリ (ユリ科)	3~4年毎に掘り上げます。葉の色が少し黄化したら掘り上げ、チューリップに準じて陰干し・保管して秋に植え付けます。ドングリくらいの大きさの球根は翌年開花しますが、それ以下の小球は肥培すると2年目に開花します。
クロッカス (アヤメ科)	3~4年毎に掘り上げます。掘り上げ・保管方法はチューリップに準じます。古い球根を取り除き、新球のみを植え付けます。
ユリ (ユリ科)	2~3年毎に掘り上げます。掘り上げ後水洗いし、腐った鱗片や根を取り除き、殺菌剤のトップシンM水和剤などの500倍液に浸漬して消毒し、乾かさないようにして植え付けます。
アリウム (ユリ科)	葉が枯れたら掘り上げて、風通しの良い日陰で乾燥貯蔵。分球と実生でふやします。
フリチラリア (ユリ科)	葉が枯れたら掘り上げて、風通しの良い日陰で乾燥貯蔵。分球でふやします。
ヒアシンス (ユリ科)	葉が黄変したら掘り上げて、風通しの良い日陰で乾燥貯蔵。球根が小さくなると花穂が小さくなりますので、肥培します。
シラー (ユリ科)	葉が黄変したら掘り上げて、風通しの良い日陰で乾燥貯蔵。分球でふやします。
ハナニラ (ユリ科)	3~4年は植えっ放しでもよいが、草姿が乱れるので、掘り上げて新しい球根を植え付けます。



# 6月～7月の催しのお知らせ



13.6 月号

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
<b>展示会</b>				
ミニ盆栽と山草展	6月14日(金)～6月16日(日)	札幌草樹会	入場無料	
斑入り植物展	6月15日(土)～6月16日(日)	斑入り愛好会	〃	
現代押し花アート展	6月18日(火)～6月23日(日)	日本レミコ押し花学院	〃	
<b>園芸教室・自然教室</b>				
夏の観察会	6月29日(土)	10:00～	6/11(火)～	100円
果樹などの夏の病害虫防除	7月7日(日)	13:30～	〃	無料
<b>クラフト教室</b>				
札幌産あけびのバスケット	6月26日(水)	10:00～	6/11(火)～	2,300円
現代押し花アート体験・ミニ額 くつか鳴る	7月9日(火)	10:00～	〃	2,500円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
<b>講習会・実践講座！</b>				
植物の殖やし方(挿し木)	6月15日(土)	13:30～	5/11(土)～	800円
あけびで編む季節のフラワーバスケット	6月15日(土)	10:00～	〃	2,300円
バラの花後管理	6月30日(日)	13:30～	6/11(火)～	130円
ラベンダーの育て方	7月6日(土)	10:30～	〃	〃
お散歩ガイド	7月6日, 13日, 20日	13:00～	直接会場へ	無料
<b>展示会・コンサート</b>				
ハンギングバスケット展	6月11日(火)～6月16日(日)	コテージガーデン	温室入館料130円	
ゼラニウム展	6月18日(火)～6月30日(日)		〃	
ゲラニウム展	6月18日(火)～6月30日(日)		〃	
フクシア展	6月25日(火)～7月15日(月祝)		〃	
ユリ展	7月2日(火)～7月15日(月祝)		〃	
百合が原青空コンサート	7月13日(土)14:00～15:00 予定			無料

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
<b>園芸教室・自然教室</b>				
庭木の手入れ②マツ類の緑摘み	6月16日(日)	10:00～、13:30～	6/11(火)～	300円
秋野菜の種まきと管理	7月2日(火)	13:30～	〃	100円
庭木の手入れ③ゴヨウマツの整枝・剪定	7月7日(日)	10:00～、13:30～	〃	300円
<b>アレンジ教室</b>				
赤とピンクのミニガーデン風アレンジ	6月13日(木)	13:00～	5/11(土)～	3,000円
あけびの花かご	6月29日(土)	10:30～	6/11(火)～	2,300円
グリーンが主役のアレンジ	7月11日(木)	13:00～	〃	3,000円

## その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
子りす工房～おとなの日 「木の時計」	6月13日(木)10:00～, 13:30～	要申込: 1,500円	西岡公園 582-0050
札幌まつり	6月14日(金)～16日(日)	直接会場へ	中島公園 511-3924
かもくま祭	6月30日(日)	会場: 中島公園	中島児童会館 511-3397
チューリップ・すずらんフェスタ	5月18日(土)～6月16日(日)	駐車料金有 別途入園料有 掘取体験は整理券配布	滝野すずらん 丘陵公園 592-3333
チューリップ球根掘り取り体験	6月15日(土), 16日(日)		
とんぼのたんけんたい	6月15日(土) 10:00～	直接会場へ: 100円	平岡公園 881-7924
春の湿生植物観察ツアー	6月16日(日) 10:00～	要申込: 無料	
さわやかな新緑の森を歩く	6月19日(水) 10:00～	直接会場へ: 100円	
春のカエルツアーア	6月22日(土) 10:00～	要申込: 無料	
真駒内川をきれいにしよう	6月22日(土) 11:00～	さけ科学館前集合	さけ科学館 582-7555
花フェスタ 2013 札幌	6月22日(土)～30日(日)	会場: 大通公園	花フェスタ 2013 札幌実行委員会 863-5550
樹木管理体験会～公園の仕事をしよう	7月6日(土) 9:30～	当日先着: 100円	モエレ沼公園 790-1231